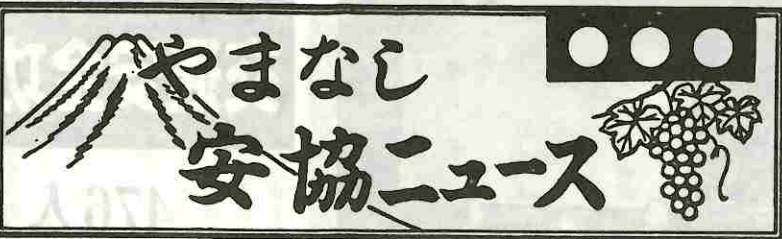


県下の交通事故 (12月1日現在)

| 区分   | 発生件数   | 死者     | 傷者     |
|------|--------|--------|--------|
| 年別   |        |        |        |
| 平成3年 | 4,679件 | 115人   | 6,309人 |
| "4年  | 4,691件 | 129人   | 6,235人 |
| 比較   | +0.3%  | +12.2% | -1.2%  |



◇ 第98号 ◇  
 発行所  
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11  
 県民会館2階  
 財団法人 山梨県交通安全協会  
 TEL 甲府 (0552) 32-4682  
 (0552) 37-7827



凍った路面でスリップしてダイビング

年末年始交通事故防止県民運動

— 12月10日~1月10日 —

無事故で越年 笑顔で迎春

年末年始は、交通が混雑し、あわただしさも加わるほか、飲酒の機会も多く、交通事故の多発が懸念されます。このため広く県民に交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として、県交通安全対策本部と県交通対策推進協議会の主催で「平成四年度年末年始交通事故防止県民運動」が十二月十日から平成五年一月十日まで実施されます。県内の交通事故による死者は、既に百二十人を超え、昨年一年間の百三十人を突破する勢いで推移しています。最悪の情勢のなかで、これ以上犠牲者を出さないために、県民一人ひとりがこの運動に真剣に取り組ましましょう。

運動の重点

一、飲酒運転の絶滅

岩手 今野 忠貴

二、シートベルトの着用の徹底



三、若者による無謀運転の追放



四、高齢者と子ども



五、違法駐車



**安全のために**  
 今年十二月、警察本部の交通課が新設された。この課は、交通安全と円滑化のための各種交通安全施設整備や、交通規制の実施など、交通管理を主たる任務としている部署です。

本県が実施している交通安全施設や、交通規制の実施状況について、その概要を説明いたしますと、交通信号機は一〇六二基、横断歩道は三六九六箇所、自転車横断帯四一〇箇所、一時停止、約七八〇箇所、駐車禁止区間は延べ約一五〇〇キロメートル、追い越しの右側部分のみ出し通行禁止線(黄色いセンターライン)約八六〇キロメートル、各種道路標識約七万枚等となっています。

また交通信号機等の五階には交通信号センターがあり、甲府市を中心とした管制エリア内では、一九四基の信

交通安全施設等の各種交通信号機、運転者や歩行者の安全確保に、どれだけ貢献しているかを、数字で示すことは非常にむずかしいことですが、交通信号センターが信号機をコンピュータ制御して、交通の円滑化がもたらす経済的効果は、国道二〇号、三五八号、それに甲府敷島峠峠線国道の

安全施設の役割

県警交通規制課長 清水夏男



知られることにより、駐車場の利用効果が高めるものです。その効果として、市内の特定路線で恒常的に発生していた交通渋滞が減少したとか、違法駐車が増減したとか、全体の駐車場で利用率が向上したなどのメリットがあげられています。

このように交通安全施設は、県民の安全確保と交通

の円滑化のために大きな働きをしていくわけですが、ここで県民の皆さんに特別お願いしたいのは、例えば交通信号機の青、黄、赤の三色は、それぞれどんなルールが決まっているのか、また道路の中央に設置されている黄色いセンターラインは、どんなルールになっているのか等々、県民一人ひとりが、よく認識していることなどです。

交通事故の発生する原因は千差万別で、それらをクリアすることは容易なことではありませんが、関係機関、団体等と連携をとりながら出来ることから解決し、一件でも交通事故をなくす努力が必要だと痛感しています。

そのためには、特に交通安全協会の皆さんとは、連携を緊密にして、県民の要望に応えられる交通安全施設の整備充実に向けた努力してまいりますので、一層のご支援、ご協力をお願いします。

▼「23 24 20」「21 20 21」? 人生の明暗を感じさせられた数字です。片や栄光の二字を背負い、片や十字架を背負いたる明暗を異にした数字、そんな対照的な数字なのです。▼前者は、人気の大相撲九州場所での優勝の曙、準優勝の殊勲賞の琴錦、そして年間最多勝の貴花田、この三人の年令、後者は「飲酒運転の三人死傷」「大学生が三人死傷」「大生が三人死傷」の見出しで報道された死亡事故を起し、またその犠牲となった若者等の年令なのです。▼筆者は、後者について、何かかけがえのない「命」を粗末にするのかと憤りにも似た強いショックを憶えました。大学に進みよき社会人となる日を夢見て勉強に励み、家族からも将来を期待されていた若者が、一瞬の事故で夢を潰し、期待に背いてしまっ、何ともしきれない思いに襲われました。▼酒と運転は水と油の関係と同じように、全く相容れない絶縁関係にある筈なのに何故か? ▼最近、酒の出る会合に出ますと、こんな光景によく出逢います。酒を注ごうとする「今日はこれだから」とハンドルを握るゼスチュアを示す仲間がいます。すると、酒を注ごうとした仲間が注ぐ手を引く。「乗るなら飲むな」私達の仲間では、これが最近浸透しています。

▼死亡事故の特徴の一つは、若者の無謀運転が挙げられます。全死亡事故の39%を占めています。また飲酒運転によるものが、全体の12%。さらに飲酒の結果スピード感が薄れ、その出し過ぎによる事故も全体の27%を占めています。▼飲酒運転の絶滅「若者による無謀運転の追放」等を運動の重点に、今年も「年末年始交通事故防止県民運動」が始まります。▼この機会に文明の利器を敢て凶器とする愚を、もうやめようではありませんか。▼世の中、不景気風が吹いています。せめて交通事故には無縁で、笑顔で新年をお迎えください。

平成五年 交通安全年間スローガン  
 最優秀作  
 運転者(同乗者も含む) あぶないよカーブでタイヤが泣く速度  
 歩行者・自転車利用者向け かけ込む青のまばたきも危険  
 子どもからの募集 おしゃべりにむちゅつて見えない 赤しんごう

**交差点**  
 ▼「23 24 20」「21 20 21」? 人生の明暗を感じさせられた数字です。片や栄光の二字を背負い、片や十字架を背負いたる明暗を異にした数字、そんな対照的な数字なのです。▼前者は、人気の大相撲九州場所での優勝の曙、準優勝の殊勲賞の琴錦、そして年間最多勝の貴花田、この三人の年令、後者は「飲酒運転の三人死傷」「大学生が三人死傷」「大生が三人死傷」の見出しで報道された死亡事故を起し、またその犠牲となった若者等の年令なのです。▼筆者は、後者について、何かかけがえのない「命」を粗末にするのかと憤りにも似た強いショックを憶えました。大学に進みよき社会人となる日を夢見て勉強に励み、家族からも将来を期待されていた若者が、一瞬の事故で夢を潰し、期待に背いてしまっ、何ともしきれない思いに襲われました。▼酒と運転は水と油の関係と同じように、全く相容れない絶縁関係にある筈なのに何故か? ▼最近、酒の出る会合に出ますと、こんな光景によく出逢います。酒を注ごうとする「今日はこれだから」とハンドルを握るゼスチュアを示す仲間がいます。すると、酒を注ごうとした仲間が注ぐ手を引く。「乗るなら飲むな」私達の仲間では、これが最近浸透しています。

# 交通安全功労者・優良運転者

## 476人と21団体表彰

### 優秀安協に石和

#### 優良安協は八月、南部、塩山 交通安全賞章緑十字銅章二〇八人

県警察本部と県交通安全協会主催の平成四年度交通安全功労者、優良運転者等の表彰式が、十一月十二日、県民会館大ホールにおいて、天野建典知事、県議会議長(代理山本昭長副議長)、吉村徳則甲府地検検事正、刑部源太郎県公安委員長ら来賓の臨席のもとに盛大に開催されました。

表彰式は、まず全員で交通安全功労者に対する追悼の黙祷を捧げた後、服部範雄県警本部長と中村太郎県安協会長が主催者としてあいさつし、次いで表彰が行われました。

受賞者は、多年にわたる交通安全防止に功績のあった交通安全功労者、長期にわたって効果的な交通安全



小林 隆氏 柳沢武史氏 萩原卯平氏 中村太郎氏

### 叙勲 県政功績者表彰

おめでとーございませう

活動を続けている団体・個人、日ごろ積極的に交通安全活動に努め事故防止に功労のあった交通安全協会や同役員、永年無事故、無違反で他の模範とされる優良運転者、多年職務に精励し功績のあった優良職員等十四団体、七協会、四百七十六人が表彰状、感謝状と記念品が贈られました。

表彰に続いて、県知事、県議会議長、検事正、公安委員長等から祝辞、受賞者を代表して、富士吉田安協田中経義会長からあいさつがあり、最後に県中学生交通安全弁論大会の優秀者、城南中一年の萩原彩さんと古関中二年赤池幸子さんの

**第26回交通安全写真コンテスト入賞者**

県交通安全協会主催、県警察本部、山梨日日新聞社、県交母連合会後援の第26回交通安全写真コンテストに、本年は四五点が出品されました。

十月五日に審査の結果、金賞三点、銀賞三点、銅賞六点、佳作二点を決定し、

入賞者には賞状、賞金、応募者全員に参加賞が贈られました。

応募作品は、交通安全の写真展や広報紙(誌)などに活用され交通安全思想の啓発に役立っています。一般への貸出しもいたしますのでご利用ください。

入賞者は次のとおりです。  
〔金賞〕県警高速隊、依田虎雄(楡形)、金山

修(甲府) 県警交通規制課、富士吉田警察署、塩山警察署  
〔銅賞〕佐々木仁(富士吉田)、岡田清(敷島)、小俣光雄(上野原)、森本秀俊(石和)、前田正(甲府)、依田虎雄(楡形)、遠藤守(身延)



金賞入選作

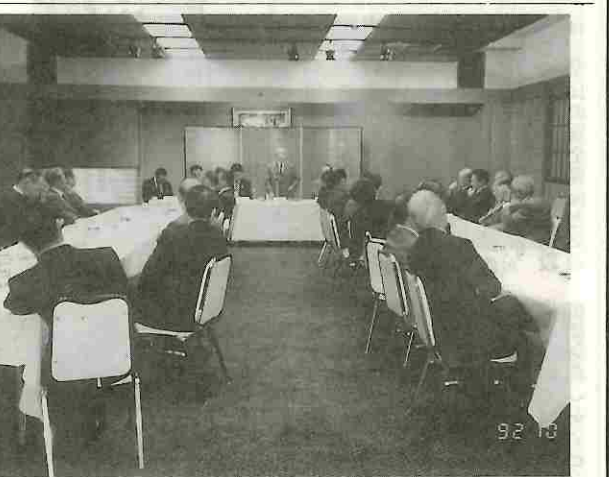
〔叙勲〕  
勲一等瑞宝章 県安協会長 中村太郎氏  
勲六等単光旭日章 県安協理事、日下部安協会長 萩原卯平氏  
〔県政功績者〕 県政特別功績 県安協会長 中村太郎氏  
県政功績(地方自治) 県安協副会長、飯沢安協会長 柳沢武史氏  
同(産業) 県安協理事、県バス協会会長 小林隆氏

〔優良運転者〕  
長田英二、永田安信、根津幸久、神津昌治、千野隆雄、保坂竜雄、渡辺重平、内藤武紀、佐久四郎、小宮山貞夫、市川章、窪田和也、伊東今朝次、小林弘典、登川静郎、八巻みのる、浅川雄二、土屋雅史、内田守、川口福三、入倉治彦、市川弥栄、依田喜次、一瀬貞仁、加藤富士雄、岩間洋夫、市川澄江、志村徳江、河野勝、松土昭雄、古屋武夫、池田増雄、矢崎三津子、渡辺雄一、田中経義、松浦貞道、貴家延明、小山田進、小俣俊雄、奥秋政利、畑野春由、岡部伍作、天野千代子、山田 暉、〔優良安全運転管理者〕 大澤孝彦、内田和男、田

弁論発表があり、事故防止を訴える率直な意見は参会者に深い感動を与え、盛会のうちに閉会となりました。受賞者は次のとおりです。

○関東管区表彰  
〔交通安全功労団体〕 昭和町立西条小学校  
〔交通安全事業所〕 本町運送株式会社  
〔優良運転者〕 野中秋光、田中松百、大杉公和、水上建吾、川口信昭、山下 薫、内藤繁彦、三橋正男、杉本家康、菅沼重男、亀井英重。

○交通安全賞章(緑十字銅章) 〔交通安全功労者〕 長田英二、永田安信、根津幸久、神津昌治、千野隆雄、保坂竜雄、渡辺重平、内藤武紀、佐久四郎、小宮山貞夫、市川章、窪田和也、伊東今朝次、小林弘典、登川静郎、八巻みのる、浅川雄二、土屋雅史、内田守、川口福三、入倉治彦、市川弥栄、依田喜次、一瀬貞仁、加藤富士雄、岩間洋夫、市川澄江、志村徳江、河野勝、松土昭雄、古屋武夫、池田増雄、矢崎三津子、渡辺雄一、田中経義、松浦貞道、貴家延明、小山田進、小俣俊雄、奥秋政利、畑野春由、岡部伍作、天野千代子、山田 暉、〔優良安全運転管理者〕 大澤孝彦、内田和男、田



### 県安協の役員研修会開く

県安協(中村太郎会長)では、十月十六日、甲府市古名屋ホテルで役員会(理事、評議員会合同会議)を開き、当面の諸問題について協議しました。次いで研修会に移り、先ず県警交通部加賀美交通部長から、「最近の交通情勢」と題し、交通事故とくに死亡事故を中心として、その特徴、シートベルト着用状況等を具体的な交通事故事例を引用しながら詳細な説明があり、次に県安協中村会長から「参議院議員を了えて」と題し当面の政局、民主政治のあり方等政治の裏表について有益な講話があり、一同深い感銘を受けました。

末木龍昭、広瀬さと、北井源紀、畑野捷彦、川崎梅与、佐藤久義、佐藤正英、小俣彦彦、田中経策、高村明雄、田中俊作、藤井与三郎、渡辺和子、堀内久芳、渡辺正寿、渡辺 進、小林勝子、古屋俊男、齋藤明雄、能登健二、坂本勝史、堂本義雄、平賀常雄、降矢広国、長島 実、黒川基三郎、尾形正勝、平本一磨。

○優良運転者 飯沼忠夫ほか二五六人

○県安協会長表彰 数野 寿ほか四人

**山梨県警察本部よりお知らせ!**

毎年年末年始は運転免許の更新手続きをされる方が多いため免許受付の窓口が大変混雑します。

運転免許の更新は誕生日の一月前から手続きができますので、早目に手続き

を済ませて、年末年始はなるべく避けるようにしてください。また十二月二十九日から翌一月三日の間は休みにいたしますので更新手続きはできません。もしこの期間中に誕生日のある方で手続きができた方は一月四日に必ず手続きをしてくだい。

八田村の運転免許センター

を済ませて、年末年始はなるべく避けるようにしてください。また十二月二十九日から翌一月三日の間は休みにいたしますので更新手続きはできません。もしこの期間中に誕生日のある方で手続きができた方は一月四日に必ず手続きをしてくだい。

(運転免許課)

自動車や原付自転車には必ず任意の損害保険代理店

株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13  
九条東ルビ4階  
TEL 0552-28-0691

**原付講習始まる**

本年五月の道路交通法の一部改正により、十一月一日から従来任意講習であった原付自転車の技能講習が義務づけられました。この技能講習の終了証明書がないと運転免許証が交付されません。

本来この講習は公安委員会が行うこととされていますが、法律の規定により、本県では県安協が委託を受けて実施することになり、安全運転推進委員会に所属する指導員により、この講習を実施することとし、十一月十五日第一回目の講習を県下五地区の会場で実施しました。

因みに、この講習は、県内を五ブロックに分け、毎月第一と第三の日曜日、午前中一八〇分(三時間)行

交通事故ゼロの願いをこめて、平成五年に使用する「交通安全年間スローガン」が決まりました。三部門の最優秀作品（一面掲載）と総務庁長官賞、警察庁長官賞、文部大臣奨励賞及び佳作は次のとおりです。このスローガンを行動に移し、交通安全運動を大きく前進させたいものです。

総務庁長官賞

◆運転者（同乗者を含む）向け  
ゆるめません 心のブレーキ 帰宅まで

◆歩行者・自転車利用者に対するもの  
自転車は 走って一列 止めて整列

◆子どもからの募集  
とびだすな ぼくらのいのちは 地球のみらい

警察庁長官賞  
◆運転者（同乗者を含む）向け  
カチッとね シートベルトと 安全確認

◆歩行者・自転車利用者に対するもの  
交通の マナーその場で 子に教え

◆子どもからの募集  
ゆずりあい だれにもできる 心がけ

文部大臣奨励賞  
◆子どもからの募集  
安全も カバンにつめて 登下校

平成五年交通安全年間スローガン

佳作（全日本交通安全協会会長賞）

◆運転者（同乗者を含む）向け  
急がない ベルトをしめる 5秒間

◆歩行者・自転車利用者に対するもの  
お母さん！見えます 真似ます あなたの子

◆子どもからの募集  
落ち着いて 横切る前に 深呼吸

◆歩行者・自転車利用者に対するもの  
お母さん！見えます 真似ます あなたの子

◆子どもからの募集  
落ち着いて 横切る前に 深呼吸

◆歩行者・自転車利用者に対するもの  
お母さん！見えます 真似ます あなたの子

◆子どもからの募集  
落ち着いて 横切る前に 深呼吸

◆歩行者・自転車利用者に対するもの  
お母さん！見えます 真似ます あなたの子

◆子どもからの募集  
落ち着いて 横切る前に 深呼吸

◆歩行者・自転車利用者に対するもの  
お母さん！見えます 真似ます あなたの子

◆子どもからの募集  
落ち着いて 横切る前に 深呼吸

萩原彩さん(城南中学1年) 優勝

～地区代表17人が熱弁～

第34回山梨県中学生交通安全弁論大会

第34回山梨県中学生交通安全弁論大会が、本年から「スズメ」で開催されました。県警察本部と県交通安全協会の主催により十月二十八日の予選大会で優勝し地区代表



表となった十七人の中学生が七分の持ち時間で、中学生の立場から交通安全について真剣に訴え、参加者に強い感動を与えました。とくに本年は男子中学生の参加が増え、関心の高まりを感じさせられました。審査の結果「言いましたか、聞きましたか」（別掲）と題して「気をつけて」の一言の重要性を訴えた城南中一年、萩原彩さんが第一位となり、優勝旗と知事賞を受けました。他の受賞者は次のとおりです。

- 〔準備賞〕  
県議会議員賞 赤池 幸子（古閑中）  
県警察本部賞 鈴木 暁範（忍野中）  
県教育長賞 日野原和貴（山梨北中）  
〔優秀賞〕以下出場順  
村松 玲奈（一宮中）  
雨宮しほ（富竹中）  
八月 郷一（万沢中）  
雨宮 久恵（山梨養和）

九月十九日第七回各地区安協婦人部役員研修会が役員九四名の参加を得て東京と神奈川県下において行われ、秋の全国交通安全運動を前に東京都庁広場で開催された「交通安全フェア」の見学と都市の駐車状況の実態と交通の流れ等を視察する目的で実施されましたが、参加者全員終始熱心に見学され有意義な研修会でした。

市川 葉子（白州中）  
泉 晶子（東桂中）  
深沢 雅人（増穂中）  
日向 大介（塩山中）  
岩澤 絵里（双葉中）  
萬木 龍馬（七穂第中）  
勝俣玲奈（明見中）  
杉本 智宣（平和中）  
中村 豪志（芦安中）

「おはよう」と、元気に明るく呼びかけ合った朝。そのあいさつから始まる一日は、心がうきうきして、楽しく過ごせます。私の家では、「おはよう」とか「ありがとう」「ごめんさい」という、あいさつを、普段から忘れずにする様に心がけています。それは、あいさつをすることによって、した人も、された人も、心がなごみ、気持ちが満たされてくると思うからです。気持ちが満たされてくれば、他人にもやさしくできると、私は、思います。

先日、私の周りにも、とても悲しい交通事故がありました。ちょっとした気のゆるみから、運転をあやまり、尊い人の命をうばい、その上、何人も人を傷つけてしまいました。起こすは、いつも朝早くから、交通通止に協力してききました。交通安全期間中には、いつも朝早くから、交通通止に協力してききました。交通安全期間中には、いつも朝早くから、交通通止に協力してききました。

どうでしょう？相手のつらい立場を理解する余裕もなく、相手をうらみ、許すことも、とんでもないと思えます。どちらの立場であっても、逃れられない悲しみで落ち込んでしまつたのです。その事故をきっかけに新聞の文字で表された事実の裏に、悲しい真実があることを知り、交通事故の恐ろしさや悲惨さをつくづく感じました。私の家で、いつもかけ合っている「気をつけて」のあいさつは、小さなことかもしれませんが、この言葉をかけ合うことによって、運転者のちょっとした気のゆるみから起こるかもしれない、悲しい事故を防ぐことができると思っています。

朝の忙しい時でも「いい朝らしい」とのあとに、「一言「気をつけて」のあいさつを、つけ加えて下さい。たったそれだけ。その一言に、お互いを心配し、思いやる、やさしい心が、かくされていると思います。思いやりの一言です。

その一言で、心がなごみ、気持ちが満たされ、他人にもやさしくできるのです。このことこそ、交通事故を防ぐ第一歩となるのだと思います。みなさんは「気をつけて」の一言が言えていますか？聞かれていますか？今日も「気をつけて」お帰り下さい。

もう一つ、私の家では、心がけているあいさつがあります。それは、「気をつけて」です。我が家では、祖父、父、母が、車の運転をして、私が、自転車で、通学しています。ですから、誰かが出かける時には、必ず「気をつけて」と、一言かけ合うのが習慣になっています。

このことは、多分、祖父、父、母、私、全員、思っています。もう一つ、私の家では、心がけているあいさつがあります。それは、「気をつけて」です。我が家では、祖父、父、母が、車の運転をして、私が、自転車で、通学しています。ですから、誰かが出かける時には、必ず「気をつけて」と、一言かけ合うのが習慣になっています。

このことは、多分、祖父、父、母、私、全員、思っています。もう一つ、私の家では、心がけているあいさつがあります。それは、「気をつけて」です。我が家では、祖父、父、母が、車の運転をして、私が、自転車で、通学しています。ですから、誰かが出かける時には、必ず「気をつけて」と、一言かけ合うのが習慣になっています。

このことは、多分、祖父、父、母、私、全員、思っています。もう一つ、私の家では、心がけているあいさつがあります。それは、「気をつけて」です。我が家では、祖父、父、母が、車の運転をして、私が、自転車で、通学しています。ですから、誰かが出かける時には、必ず「気をつけて」と、一言かけ合うのが習慣になっています。

このことは、多分、祖父、父、母、私、全員、思っています。もう一つ、私の家では、心がけているあいさつがあります。それは、「気をつけて」です。我が家では、祖父、父、母が、車の運転をして、私が、自転車で、通学しています。ですから、誰かが出かける時には、必ず「気をつけて」と、一言かけ合うのが習慣になっています。

**新規購入 映画の紹介**

◎ビデオ有

一、路上の惨事  
16ミリ、カラー、27分  
① 運転者向  
交通事故の大半はドライバーの見込み違いで起きています。見込み違いは「脇見」「見落とし」「判断エラー」「操作エラー」が元になっている。特にスピードの出ている時の見込み違いは、大惨事の確率が高い。中には「速度で変化する車の性能」の限界を知らない「無知からくる死亡事故」もある。この映画はその実態と予防方法を事故現場を通して描いています。

二、七十歳の青春  
16ミリ、カラー、30分  
① 高齢者向  
高齢者の交通事故防止のポイントの一つは、高齢者が自分のこととして交通問題に目を向け、安全意識を高めること、家族がそのことを理解して、サポートすることです。高齢者

三、お婆さん漫遊記 交通マナークイズ  
ビデオ、15分、高齢者向  
楽しみながら交通マナーのおさらいを……。バス旅行や老人クラブのちょっとした集まりなどで気軽にご利用ください。

★全車種（大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許）の免許の取得ができます。  
★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。  
★ご希望により送迎もいたします。

財団法人  
山梨県交通安全協会経営  
**公認 山梨自動車学校**  
中巨摩郡八田村野牛島1828（運転免許センター内）  
TEL (0552) 85-0752

# 地区だより

## 平成4年秋の交通安全運動

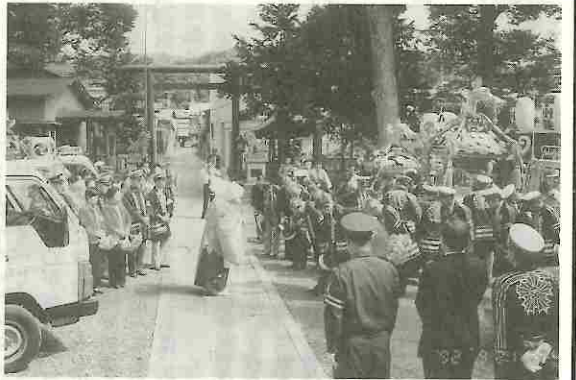
秋の全国交通安全運動は九月二十一日から三十日までの十日間全国一斉に行われ、交通事故死者が激増している中で、シートベルトの着用、高齢者や若者の事故防止を中心に運動が推進されましたが、依然として死亡事故が多発し期間中の死者は全国で三百二十九人で、これは昭和四十九年以降最悪の結果となりました。県内の交通事故は、発生百十件、死者四人、傷者百四十人で、いずれも前年同期と比べると増加しました。事故の内容では、車対車の事故が大多数で、全体の八九%を占め、追突四二件、出合頭衝突が二六件と相変わらず多い状況でした。運動期間中の各地区安協の活動の一端をご紹介します。



きょうから交通安全運動が始まります(韮崎)



老人大学で交通安全を勉強する(小笠原)



牛倉神社で交通事故絶無を誓う(上野原)



交通安全一ボクもワタシも気をつけます(南部)



小学生3,320人に黄色い安全旗を配付、安全思想の普及をはかる(都留)



町民参加の交通安全パレード(市川)



園児等600人による交通安全パレード(大月)



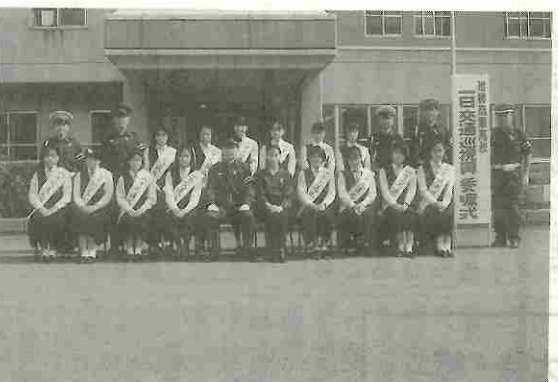
駅前で桃太郎旗による広報活動展開(日下部)



総合街頭指導所開設を前に(塩山)



「家庭における交通安全」を誓い合う(甲府)



増穂高生徒の一日交通巡視員(鍼沢)



街頭指導所で安全運動を呼びかける(南甲府)



中学生による交通安全の熱い訴え(富士吉田)



芦川村交通安全宣言大会 8,600日死亡事故ゼロの人文字(石和)



交通安全ゲートボール大会(長坂)